

令和3年度 福岡市立当仁小学校 学校経営方針



令和3年4月1日
福岡市立当仁小学校
校長 空 晴美

創立129年、当仁小の合言葉をもとに、「そろえる指導」で共通理解と共通実践に取り組もう

1 学校教育目標

「^{じん えいしん}仁と盈進」の教えで子どもたちを育むという本校の伝統ある教えを今年度も受け継ぐ。

『仁』とは、儒教における最高徳目で、思いやりの心で万人を愛し、利己的な欲望を抑えて、礼儀をつくすことである。

『盈進』とは、孟子の離婁下巻にある語で、水の流れは、窪みがあればまずその窪みを満たしてから溢れ出て、遂には四海へと進む。人が学問をするにあたって、足りないものを一つ一つ補いつつ、順序を踏んで根本を養ってこそ、究極へと達していくという訓えである。



基本的な生活習慣を身に付け、人間性豊かに、やさしく、かしこく、たくましく未来を創り出す
子どもの育成

2 めざす児童像

「当仁小の合言葉」

「今年度の3つのキーワード」

と：ともに助け合う子（徳育） …… あいさつ

う：うんと考える子（知育） …… 聴く姿勢

にん：にんたい強くがんばる子（体育） …… そうじ

※この項目については、全学級4・6・9・11・2月分の児童回答を集計し、翌月初めに生徒指導部に提出する。

3 めざす教師像

教育職としてプロ意識を確立し、識見と指導力を高めるとともに、豊かな人間性を培うために研究と修養に励む教師

4 めざす学校像

子どもたちが安心して登校でき、美しく整理された、保護者や地域から信頼される開かれた学校

5 本年度の努力点

(1) 確かな学力の向上

- 学年担任としての立場で学習規律の確立を図り、交換授業、合同授業を積極的に行う。
- 国語科学習指導の実践研究を積み上げ、全職員で研究実践を意欲的に進める。
- 国語科を中心に学習場面で友だち同士で考えを高め合う活動を取り入れる。
- ICT環境を最大限に活用した個別最適な学びと協同的な学びの充実を図る。

(2) 豊かな人権感覚と道徳性の育成

- 「聴く姿勢」の定着を図り、思いやりとやさしさを育み、あわせて理解の深まりを目指す。
- 子どもの発達段階に応じ、人権の意義や重要性について理解し、自尊感情を高める取組を推進する。
- 道徳教育で、「考え、議論する道徳」への転換を図り、規範意識など子どもの道徳性を育む。
- 学校図書館の整備充実を図り、読書活動を通して、感動する心や自ら学び考える力を育てる。

(3) 健やかな体の育成

- 健康・安全について子どもに指導し、子ども自らが考え、実践することができるようにする。
- 「そうじ」の定着を図り、最後までやり抜く態度を見に付けるとともに、清潔で美しい環境づくりに努める。
- 「食」を通して健全な心身の育成を図り、給食を支える人々への感謝の気持ちを育む。
- 体力テストの結果を生かした体力向上の充実を図る。

(4) いじめ・不登校等の未然防止・早期対応

- 「あいさつ」の定着を図り、時と場所に応じたコミュニケーションの取り方を身に付けさせる。
- SC・SSWによる相談体制を充実させ、地域諸団体や関係機関との連携を強める。
- 子どものトラブルや保護者対応は、担任だけではなく、学年や管理職も連携した対応を行う。
- いじめの防止等のために、毎月のアンケートを活用する。

(5) 特別支援教育の推進

- かがやき学級の運営にあたっては、全職員で理解を図り、交流学級や学年と連携していく。
- 通常の学級の支援を必要とする子どもの実態を把握し、保護者と連携をしながら、支援方法を全職員で実践する。
- 交流学習・交流給食の充実を図り、お互いの良さを認め合い、主体的にかかわる態度を育てる。
- 医療的ケア支援体制について、関係機関と連携をしながら、全職員で理解し進めていく。

(6) 信頼される学校づくり

- 教育情報をホームページ等で積極的に発信し、保護者・地域に開かれた学校づくりに努める。
- 学校職員として、研究と修養に努め、学校経営に積極的に参画する。
- 服務等を遵守し、教育公務員としての自覚と責任を持つ。
 - ・ 機密文書の取り扱い及び、個人情報の適切な管理については厳格に対処する。
 - ・ 飲酒運転、酒気帯び運転、セクハラ行為、体罰は絶対にしない、許さない。
 - ・ 出勤簿は毎朝押印する等、決められたこと・当たり前のことを積み重ねていく。
- 子どもの健康・安全を第一に考えた学級・学校運営に取り組む。